

形容詞

1. 形容詞の用法

形容詞とは名詞を修飾したり補語になったりする語のことです。そして、形容詞には大きく分けて2つの用法があります。

1 限定用法

限定用法とは、名詞を修飾する用法のことです。限定用法で使われる場合、次の2つの形があります。

○ 形容詞＋名詞

この形は日本語と同じ語順なので、すんなり頭に入ってくるのではないのでしょうか。

例文：

This is a beautiful lake.

(これは美しい湖です。)

He has a small bag.

(彼は小さいかばんを持っています。)

They sell old books.

(彼らは古い本を売ります。)

○ 代名詞＋形容詞

この形は **-thing, -one, -body** などの代名詞で使われる形です。形容詞が日本語とは逆の位置にきますので、慣れるまで非常にややこしい用法です。それゆえ、テスト等では頻繁に出題されます。

例文：

I want something cold to drink.

(私は何か冷たいものが飲みたいです。)

We saw someone strange at the station.

(私は駅で誰か怪しい人を見ました。)

不定詞の形容詞的用法でも **-thing** を扱っています。ぜひ参考にして下さい。

2 叙述用法 (じょじゅつようほう)

叙述用法とは、補語になる用法のことです。名詞・代名詞・形容詞が補語になることができますが、形容詞が補語になる場合は、この叙述用法の時です。

補語 (C) が使われる文型は第3文型 (S + V + C) と第5文型 (S + V + O + C) の2つですが、この C に形容詞が使われます。

○ 第3文型 (S + V + C)

「S + V + C」の第3文型で形容詞が使われる形です。第3文型は「S = C」になるのが特徴ですが、この C に形容詞がきます。

例文：

That building is tall.

S V C

(あのビルは高いです。)

This book is interesting.

S V C

(この本はおもしろいです。)

これらは共に「S + V + C」の第3文型の文で、「C」に形容詞が使われて「S = C」になっています。

○ 第5文型 (S + V + O + C)

「S + V + O + C」の第5文型で形容詞が使われる形です。第5文型は「O = C」になるのが特徴ですが、この C に形容詞がきます。

例文：

He keeps the room warm.

S V O C

(彼は部屋を暖かいまま保っています。)

I found the book interesting.

S V O C

(その本は読んでみるとおもしろかった。)

これらは共に「S + V + O + C」の第5文型の文で、「C」に形容詞が使われて「O = C」になっています。また、この find を使う文は it を使う文に書き換えられます。詳しくは不定詞の構文をご覧ください。

2. 数量形容詞

数量形容詞とは、数や量を表す形容詞のことです。試験ではもちろん、日常生活でもよく使う表現なので、必ず覚えるようにして下さい。

1 many, a few

この2つの形容詞は可算名詞（数えられる名詞）につきます。直後の名詞は複数形にして下さい。

例文：

There are many pencils on the desk.

（机の上に多くの鉛筆があります。）

He has a few books.

（彼は2、3冊の本を持っています。）

2 much, a little

この2つの形容詞は不可算名詞（数えられない名詞）につきます。直後の名詞は単数形です。

例文：

She has much money.

（彼女はたくさんのお金を持っています。）

We had a little rain this summer.

（今年の夏は少しの雨しか降りませんでした。）

3 a lot of

この形容詞は可算名詞と不可算名詞の両方につきます。直後の名詞が可算名詞の場合は、名詞を複数形にして下さい。

例文：

I have a lot of friends.

(私はたくさんの友達があります。)

You have a lot of work.

(あなたはたくさんの仕事があります。)

Copyright (C) 2008 All Rights Reserved, ちょいデブ親父の英文法